

第 4 回 ボッチャ交流大会 参加要項

- 1 目 的 障がいのある方もない方も共にスポーツに親しみ楽しむことで、健康増進や体力向上、社会参加の促進を図る。また、ボッチャ競技を通して障がい者および障害者スポーツへの理解を深める機会とする。
- 2 日 時 令和 8 年 3 月 1 5 日（日） 9 時 3 0 分～1 3 時 0 0 分（予定）
（受付時間：9 時 0 0 分～9 時 3 0 分）
- 3 会 場 江東区深川北スポーツセンター（平野 3－2－2 0）
- 4 主 催 公益財団法人江東区健康スポーツ公社
- 5 共 催 江東区
- 6 協 力 江東区スポーツ推進委員会
- 7 チーム数 出場 3 2 チーム（1 チーム 3 名以上 6 名まで） ※応募多数の場合は抽選
- 8 参加資格 どなたでも
- 9 参加費 無料
- 10 申込方法 (1) メールにて申込（メールアドレス：boccia@koto-hsc.or.jp）
(2) チラシ裏面の参加申込書を記入し、深川北スポーツセンターへ F A X または窓口へ申込み。
((1)または(2)のどちらかの方法でお申込みください)
- 11 申込期間 令和 8 年 2 月 1 日(日)から 2 月 1 5 日(日)まで
- 12 持ち物 運動の出来る服装、室内用シューズ
- 13 試合形式 本大会特別ルールを適用する。特別ルールは以下のとおりである。
 - (1) 試合は 8 リーグに分かれてリーグ戦を行った後、各リーグ 1 位・2 位による決勝トーナメントを行う。
 - (2) 試合は 1 チーム 3 名以上 6 名まで（補欠はコート外の椅子に座る）で構成されたチームで行う。※エンド・試合ごとのメンバー交代は可。
 - (3) 1 試合 2 エンドで行う。2 エンド終了時の総得点の多いチームが勝利。
 - (4) 先攻（赤チーム）、後攻（青チーム）はジャンケンで決める。
 - (5) 1 エンドにおける選手 1 名の持ち球は 2 球、投球順は問わない。
 - (6) 投球サイドは、投球ボックスから離れてコート内に入ることができる。相手サイドは、投球ボックスから離れることができない。
 - (7) 反則や持ち時間については基本的には取らないが、審判の指示・注意に従い、円滑な大会運営に協力すること。
 - (8) 棄権チームが出た場合、対戦成績は 3－0 での不戦勝とする。
 - (9) コートは縦 8 m×横 6 m の簡易コートを採用する。

※なお、基本ルールは参加チーム数等により変更する場合があります。

裏面に続く

- 14 注意事項 (1) 車いす利用者については、車軸がラインを踏んでいないこと。ランプを使用する場合は、ランプの先がラインを越えないこと。
- (2) マイボールを持ち込んでも構わない。ただしジャックボールはセンターが用意したものを使用する。
- 15 競技方法 (1) リーグ戦の進め方
- ① リーグ戦は1リーグ4チーム、計8リーグで実施する。
- ② 4チームによる総当たり戦とする。
- [順位の決め方]
- ・ 4チームによる総当たり戦を行い、各リーグ上位2チームが決勝トーナメントに進出する。
 - ・ 順位決定方法
- ① 勝利数
- ② 得失点
- ③ 得失点同点チームによる直接対決の勝者とする。
- ③でも勝者を決定できない場合は、1球のみのファイナルショット制を採用する。キャプテンが指名した選手またはキャプテン自身が、その選手のボックスから投球を行う。
- (2) 決勝トーナメントの進め方
- ① 決勝トーナメントは各リーグの上位2チーム（計16チーム）で行う。
- ② 準決勝敗退チームは3位決定戦を行う。
- ③ 同点の場合は、1球のみのファイナルショット制を採用する。
- 決勝戦のみ、追加の1エンドを行う。
- ※なお、競技方法は参加チーム数等により変更する場合があります。**
- 16 その他 (1) 主催者が会場内に救護員、手話通訳を配置する。
- (2) 主催者が記録として撮影した写真や動画の素材は後日、主催者の広報活動等に使用する場合がある。また、報道関係者等の取材があった場合は、大会の様子がメディアを通じて報道される場合がある。
- 17 事務局 深川北スポーツセンター
- 電話：03-3820-8730 FAX：03-3820-8731